

財政課新人・丸尾が お伝えします

合併特例債とは

これまでの合併特例債の使い道と今後の予定をお知らせします。

笠間市総合計画に基づいた事業のうち、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現する事業の財源として、合併特例債を活用しています。具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校の耐震化、認定こども園や地域交流センターの整備など市民の生活に身近な事業に活用していて、平成18年度から28年度までの11年間で約151億円を借り入れています。

合併特例債とは、合併した市町村が、新市建設計画に基づいて行う新しいまちづくり事業の財源として借り入れることができる地方債(借入金)のことをいいます。

将来支払う返済金の70%が普通交付税によって国から補填される有利な借入金です。

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10カ年度に限られ、笠間市では、平成27年度までとなっていましたが、震災によって被災した特定被災地区については期限を延長することが可能となり、期間を平成37年度まで延長しました。



地域交流センターともべ



市民センターいわま



来栖本戸線

これまでの主な使い道

平成 **28年度**

道路整備では、南友部平町線等の整備を 進めました。また、その他の事業として、 認定こども園等の整備を実施しました。

道路整備事業

○南友部平町線	4,380万円
○笠間2237号線	3,740万円

都市整備事業

○友部駅周辺整備 6,550万円(友部1175・1180号線)

○岩間駅西地区整備 6,200万円

学校施設等整備事業

○岩間第一小学校校舎改修 1億510万円 ○笠間中学校武道場建設 8,820万円

その他

○認定こども園整備5億9,800万円○地域交流センター整備4億1,140万円

平成28年度は、合計25億3,560万円を活用しました。

ー_{平成} 27年度 まで

旧市町を結ぶ道路の整備や老朽化が進ん でいた小中学校の耐震補強などの事業を実 施しました。

道路整備事業

○笠間小原線(桂町工区)、大渕飯田線、友部池野辺線、 友部1級3号線(小原)ほか

都市整備事業

○岩間駅駅舎・自由通路等 岩間駅東大通線、友部駅周辺整備

学校施設等整備事業

改 築 岩間中学校、笠間学校給食センター 耐震補強 友部中学校、笠間小学校、 岩間三小体育館、笠間中学校、 宍戸小学校、岩間第二小学校

その他

○まちづくり振興基金積立、市民体育館大規模改修、 認定こども園整備、北山公園キャンプ場整備

平成18年度から27年度までの間に、合計125億9,350 万円を借り入れました。

今後の使い道

平成 30年度 現在まで進めてきた幹線道路の整備や市 民センターいわ大規模改修、笠間稲荷周辺 まちづくり拠点整備等への活用を予定してい ます。

道路整備事業

○来栖本戸線 1億3,020万円

都市整備事業

○笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備 1億4,740万円

学校施設等整備事業

○友部第二中学校校舎改修 1億940万円

その他

○市民センターいわま大規模改修 3億1,710万円

真に必要なものを厳選し、有効に活用していきます。



暮らしに直結する さまざまな施設の整備などに 使われています。

平成 29年度

道路整備では、笠間小原線等の整備を予定しています。また、その他の事業として、地域交流センター等を整備します。

道路整備事業

○笠間小原線(桂町工区) 5,800万円

都市整備事業

○笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備 1億4,300万円

学校施設等整備事業

○小学校校舎エアコン設置 3億7,630万円

その他

○地域医療センターかさま整備5億4,270万円○笠間公民館リニューアル整備5億1,610万円

平成29年度は、約29億円の合併特例債の活用を予定 しています。

合併特例債活用事業

道路整備事業

(単位:百万円)

(単位:百万円)

但时走佣尹未		(平匹・ロカロ)	
事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部1級12号線 (平町~大古山)	H18~H21	919.7	424.3
岩間八郷線	H18~H21	521.3	273.8
大渕飯田線	H18~H22	587.9	289.9
友部池野辺線	H18~H22	550.7	268.9
上町大沢線	H18~H25	497.9	303.0
南友部平町線	H18~H32	2,126.1	1,110.5
来栖本戸線	H19~H32	1,487.1	831.9
その他の道路整備		5,180.1	2,526.4
小 計		11,870.8	6,028.7

都市整備事業

		() [] () ()	
事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
岩間駅周辺整備	H18~H24	2,366.2	1,641.2
岩間駅東大通線	H21~H27	706.9	319.0
友部駅周辺整備 (地区道路)	H26~H30	325.9	215.2
笠間稲荷周辺 まちづくり拠点整備	H28~H30	403.0	290.6
その他の都市整備		1,160.2	709.2
小 計		4,962.2	3,175.2

○合併特例債起債可能上限額 約322億円

平成29年度末までの合併特例債借入 (予定)総額 約180億円

・市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが、 合併協議会において、これをすべて活用するのではな く、道路や学校の耐震化などの真に必要なものに活用す るとしていて、今後もこの方針を基本に、財政状況等と 照らし合わせながら活用する予定です。

学校等整備事業

(単位:百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部中学校	H18~H19	805.5	589.0
岩間中学校	H20~H22	1,391.7	793.8
笠間学校給食センター	H23~H25	930.4	822.8
笠間中学校武道場整備	H27~H28	285.6	254.6
小学校エアコン設置	H28~H29	478.4	389.0
その他の学校等整備		1,042.3	666.5
小 計		4,933.9	3,515.7

その他

(単位:百万円)

COID			(十匹.口/3/3)
事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
まちづくり振興基金 積立	H23~H26	1,780.0	1,691.0
地域交流センター整備	H26~H29	1,353.8	793.4
認定子ども園整備	H26~H28	1,618.4	1,522.7
地域医療センター かさま整備	H27~H29	1,401.5	883.1
その他の事業		2,624.7	2,053.5
小 計		8,778.4	6,943.7

※地域医療センターかさま整備事業については全体事業費約20億円のうち合併特例 債対象のみ記載しています

合 計 |

30,545.3 | 19,663.3

○まちづくり振興基金への積立上限額

約26億7千万円

まちづくり振興基金への積立額 約17億8千万円 (積立上限額の約67%)

※積立額のうち合併特例債活用額 約16億9千万円

合併特例債の詳細については こちらからご覧ください。



合併特例債の 使い道

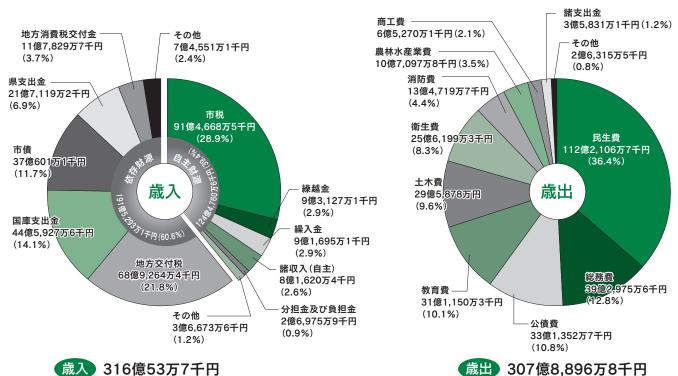
平成28年度 決算報告

平成28年度決算が、9月の笠間市議会で認定されました。市の財政は、皆さんから収めていただく税金をはじめ、国・県からの補助金・交付金などを財源としていて、医療や福祉、土木、教育など、市民生活の向上と住みよいまちづくりのために使われています。

収入支出の結果を 表すのが決算です。 毎年この時期に 発表しています。



般 会 計



■一般会計の決算額

歳入	歳出	差 引
316億53万7千円	307億8,896万8千円	8億1,156万9千円

○基金の状況

現金	有価証券	土地	計
158億8,650万5千円	5億円	_	163億8,650万5千円

○市債残高の状況

一般会計	特別会計	企業会計	計
305億24万8千円	197億8,074万9千円	34億7,230万6千円	537億5,330万3千円



土木費

市道の整備・補修や 公共下水道の整備 など



38,291円

教育費

各小中学校や 公民館·図書館の 運営など



40,267円

公債費

市債の元金・ 利子の返済



42,882円

総務費

税金の賦課、戸籍や 住民登録の経費、 広報紙の発行など



50,857円

民生費

高齢者・障害者福祉 対策や医療福祉 など



145,217円

市民 一人当たりに 使われたお金

※平成29年3月31日現在人口(住民基本台帳)77,271人で算出

398,454円

議会費

議会の運営など



3,405円

諸支出金

病院·水道事業への 支払金など ____



4,637円

商工費

商工業施設や 観光施設管理など



8,447円

農林水産業費

農林業振興支援や 農地の基盤整備 など



13,860円

消防費

消防団や 防災施設の整備 など



17,435円

衛生費

予防接種や各種健診、 ごみ処理事業など



33,156円

○特別会計

	区分		歳 入	歳 出	差引
	国民健康保険特別	引 会 計	102億540万9千円	99億2,992万3千円	2億7,548万6千円
特	後期高齢者医療特	別 会 計	7億2,252万6千円	7億2,061万5千円	191万1千円
別	介 護 保 険 特 別	会 計	60億2,029万6千円	57億9,455万8千円	2億2,573万8千円
	介護サービス事業特	別会計	2,875万9千円	2,729万2千円	146万7千円
会	公共下水道事業特	別 会 計	27億9,185万1千円	26億6,226万8千円	1億2,958万3千円
計	農業集落排水事業特	別会計	4億8,126万2千円	4億7,591万6千円	534万6千円
	岩間駅東土地区画整理事業	特別会計	1,440万2千円	1,440万2千円	0円
	病 院 事 業	収益的	7億538万4千円	6億7,066万5千円	3,471万9千円
企	例	資本的	7億3,773万5千円	7億1,686万7千円	2,086万8千円
業	上 水 道 事 業	収益的	19億2,400万1千円	17億7,262万3千円	1億5,137万8千円
会	上 小 坦 尹 未	資本的	9,289万6千円	6億1,672万7千円	△5億2,383万1千円
計	工 类 品 北 送 恵 类 収益的	収益的	2,944万2千円	2,397万5千円	546万7千円
	工業用水道事業	資本的	_	_	_



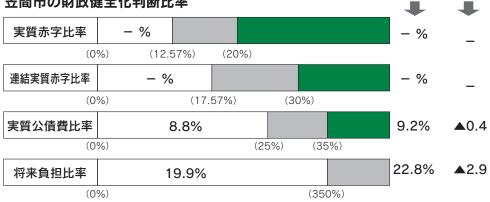
に努めていきます。 今後とも限られた財源の重点的かつ効率的な予算の配分を行うとともに、 平成28年度決算に基づき算定した結果、 すべての比率で基準を下回っています。

の財政健全化判断比率および公営企業の資金不足比率をお知らせします。 節度ある財政運営

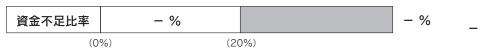
ď

・笠間市の財政健全化判断比率

早期健全化基準の範囲



笠間市の公営企業の資金不足比率



※早期健全化基準: 早期健全化団体に移行する基準。早期健全化団体になると、財政 健全化計画を定めて財政の健全化に向けた取り組みを行うことに

なります。

計 + 一

部

事

務

組合+第三セクタ

1

等

が

※財政再生基準: 財政再生団体になる基準。財政再生団体になると、財政再生計画

を定めて財政再建に取り組むことになります。また、総務大臣の

財政再生基準の範囲

前年度

の比率

対前年度 の比較

許可がなければ地方債の借り入れができなくなります。

実質赤字比 用語の解説

普

通会計

般会計

0

赤

字 度

の

度 1,1

連結実質赤字比

字であるため を示すも を指標化し、

_ %

と表示して

(,)

ま

0

です。笠間市の決算額は黒

財政経営の

悪化の

合 程

赤字や黒字を合算し、 『政経営の悪化の度合いを示すも 全会計 (一般会計 %」と表示しています。 市の連結決算額は黒字であるた + 合いを示すもので、市全体としての+特別会計等)の

実質公債費比率

将来負担比 残高を指標化 組合などの一部事務組合等が対象) ものです。(全会計+笠間地方広域 金の返済による財政負担の程度を く可 ア能性の度合いを示すものです。 (全会/高を指標化し、将来財政を圧迫する .準ずる額の大きさを指標:借入金(地方債)の返済額 般会計等の '能性のある負担等の現時点 け借入金 P 標化 将来支払 お し、借入なびこれ いって 灬での 示す 事 務

資金不足比率

悪化の度合いを示すも 金不足の程度を指標化し、 業に資金不足額は 病院事業など各公営企 % と表示しています。 あ りま のです。 経営状態 せ 6 公 態 0 営 で の資

問い合わせ

財政課

(内線218)

まだ間に合う!「年金保険料控除」



笠間市住吉 1364-1

茨城支店

函 0120-650-121

営業時間 10:00~20:00 保険募集代理店 株式会社 フィックス・ジャパン 今年も残すところ3か月を切り、年末の慌ただしさがそこまで迫ってきました。 この時期生命保険会社から、各種保険料控除のお手紙が届いているかと思います。 その中で一点、「年金保険料控除」のご案内があるかどうか確認してみて下さい。 年金保険料控除は一般生命保険、介護医療保険料控除と比べると控除枠を使っ ていない方がまだまだ多くみられます。個人年金保険で未来の自分に貯蓄を 毎年の所得税・住民税を減額するという低金利時代の賢い資産形成方法が、

当店では生命保険 24 社、損害保険会社 13 社を取扱いしています。 自分にぴったりの保険を一緒に 見つけてみませんか?